

(様式第11号) (第24条関係)

太陽光発電施設設置届出書

令和 7 年 1 0 月 3 日

長野県知事 様

住 所 長野県東筑摩郡生坂村5074-2
氏 名 株式会社 いくさかてらす
代表取締役 藤 澤 泰 彦

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第24条第 1 項の規定により、下記のとおりに届け出ます。

記

太陽光発電施設の設置の場所		長野県東筑摩郡生坂村大字東広津18195-1 長野県東筑摩郡生坂村大字東広津18196 長野県東筑摩郡生坂村大字東広津18197-1
事業区域の位置及び面積		774.5㎡
太陽光発電施設の合計出力		49.5kW (太陽電池の合計出力 73.6kW)
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	☒ 売電 ☐ 自家消費 設備ID (なし)
	設置工事着手予定日	令和 7 年 1 1 月 4 日
	設置工事完了予定日	令和 8 年 2 月 2 5 日
	運転開始予定日	令和 8 年 4 月 1 0 日
	施設撤去予定日	令和 3 7 年 1 1 月 3 日
太陽光発電施設の設置に関する計画		別添「太陽光発電施設設置計画書」参照
太陽光発電施設の構造に関する事項		地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参照の上、設計会社による構造（強度）計算を行い、架台について風雪に耐えられる強固なものとする。
景観保全のための措置の検討に関する事項		別添「景観の保全のための措置の検討状況書」参照
環境の保全のための措置の検討に関する事項 (※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。)		
備考		連絡先 株式会社 いくさかてらす 担当：田村 (電話番号) 0263-69-2388 (FAX番号) (電子メールアドレス) otoiawase@ikusaka-terasu.jp

注 1 該当する□内に L 印を記入すること。
2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、届出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在す

る土地の地番全て記載すること。

3 「事業区域の面積」欄には、小数第1位まで記載すること。

4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。

5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。

6 「備考」欄は、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

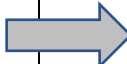
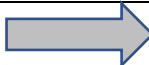
- (添付書類)
- 1 位置図
 - 2 事業区域図
 - 3 太陽光発電施設の配置図
 - 4 条例第11条の書面
 - 5 その他知事が必要と認める書類

(参考様式) (第9条関係)

太陽光発電施設設置計画書

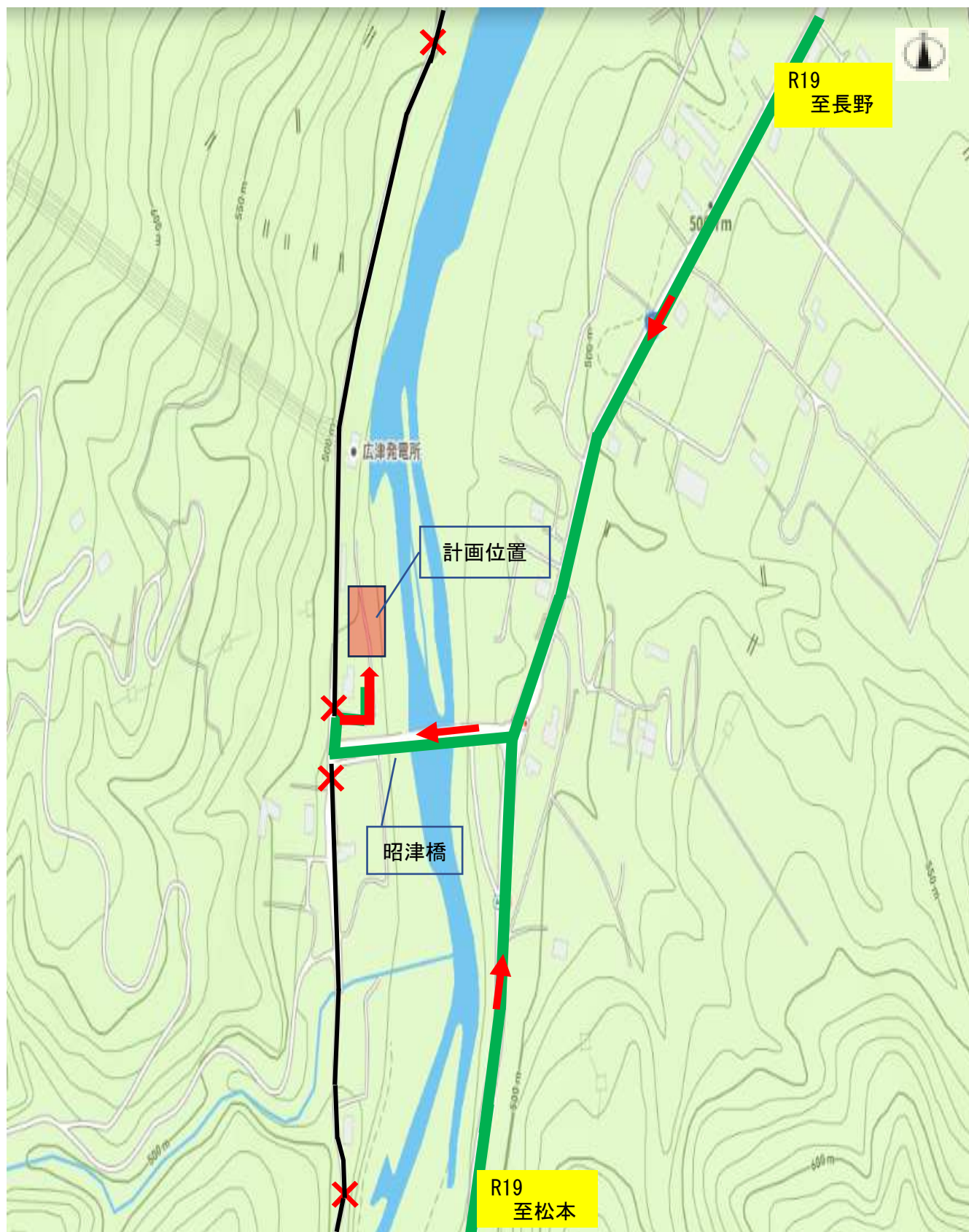
防災対策等設置施設	☐ 調整池 ☐ 沈砂池 ☒ 排水設備 ☐ 擁壁 ☐ 管理用道路 ☐ その他（ ）		
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図に明示すること	☐ 地域森林計画対象民有林 ☐ 地すべり防止区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 土砂災害特別警戒区域 ☐ 砂防指定地 ☒ 該当なし		
環境配慮区域の該当 ※50 キロワット以上の事業に限る ※該当するものは事業区域図に明示すること	☐ 国有林・地域森林計画対象民有林 ☐ 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 ☐ 長野県自然環境保全地域 ☐ 郷土環境保全地域 ☐ 水道水源保全地区 ☐ 水資源保全地域 ☐ 希少野生動植物の生息地等保護区 ☐ 鳥獣保護区 ☒ 該当なし		
工程表	別紙1 工程表のとおり		
工事車両の運行計画	想定される台数（延べ） 120 台 2 台×60 日 運行時間 平日 9：00～17：00 経路 別紙2 案内図のとおり		
造成工事	盛土の有無	有 ・ ☒ 無	想定盛土量 m ³
	切土の有無	有 ・ ☒ 無	想定切土量 m ³
	事業区域外からの搬入量		— m ³
	事業区域からの搬入量		m ³
排水処理設備の有無	☒ 有 ・ 無		
	排出経路	平面図に記載のとおり	
送電設備	☐ 鉄塔 ☒ 電柱 ☐ 地下埋設		

設置計画書 別紙1 (工程表)

工 事 名	昭津区 オフサイト PPA・蓄電池設置工事				(株)いくさかてらす
工 事 場 所	長野県東筑摩郡生坂村大字東広津 18195-1 同 18196 同 18197-1				
工 事 期 間	令和7年11月4日 ～ 令和8年2月25日				
工 種	令和7年		令和8年		備 考
	11月	12月	1月	2月	
準 備 工					
土 工					
基 礎 工 ・ トレンチ設置工					
架 台 組 立 ・ モジュール敷設					
電 気 工					
蓄 電 池 設 置 工					
フ ェ ン ス 工					
片 付 け					
検 査 ・ 系 統 連 系					

設置計画書 別紙2（工事車両の運行計画）

- ・ 国道 19 号線より進入 → 昭津橋 → 工事予定地
- ・ 村道 1 級 1 号線は幅員が狭く、地元住民の通行を優先するため使用しません



(参考様式) (第7条関係)

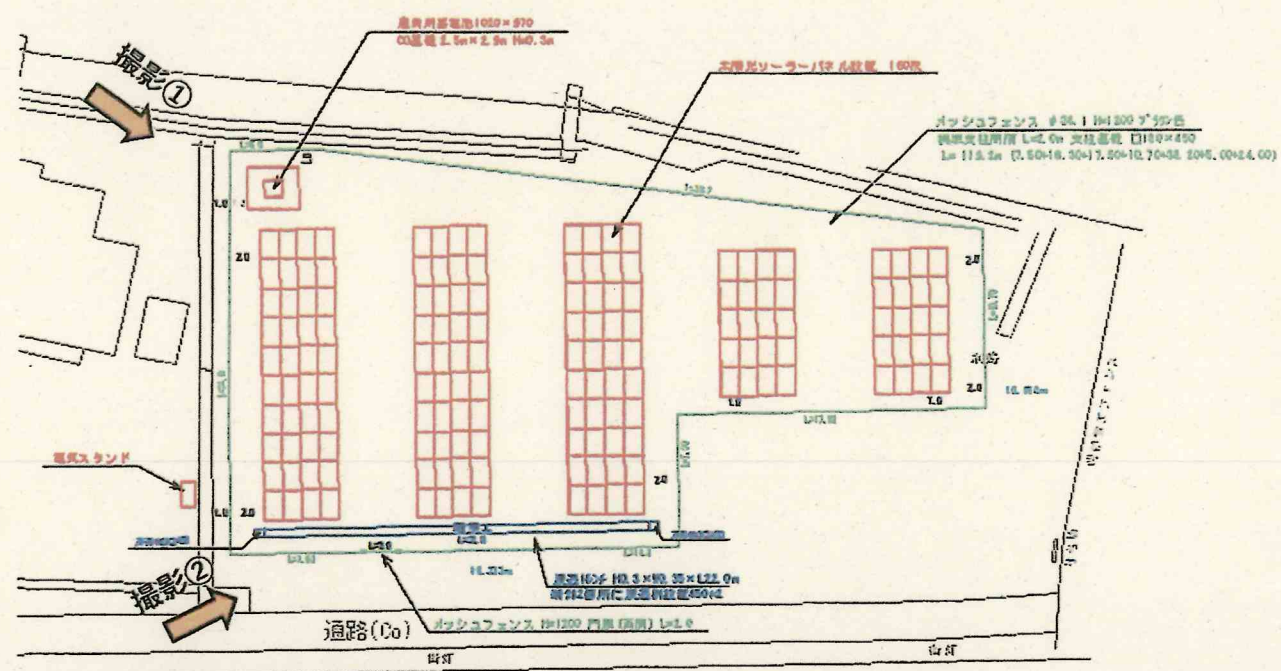
景観の保全のための措置の検討状況書

項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないよう、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	現況地盤を生かし土地の造成等は均し程度の必要最低限にとどめる計画とした
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	完成図作成
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	堺からモジュールまで2m以上後退させる
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	パネルを4カ所に分割する
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	隣接する村道より設置場所は2m低いので視界を遮らない
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	公共的な眺望点からは見えない 隣接する村道より2m低い場所に設置するため圧迫感も比較的少ない
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	効率の良い角度で揃えて配置した
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	傾斜は30°として周囲の山並みに極力整合させた
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	隣接する村道より2m低い場所なので見えにくい

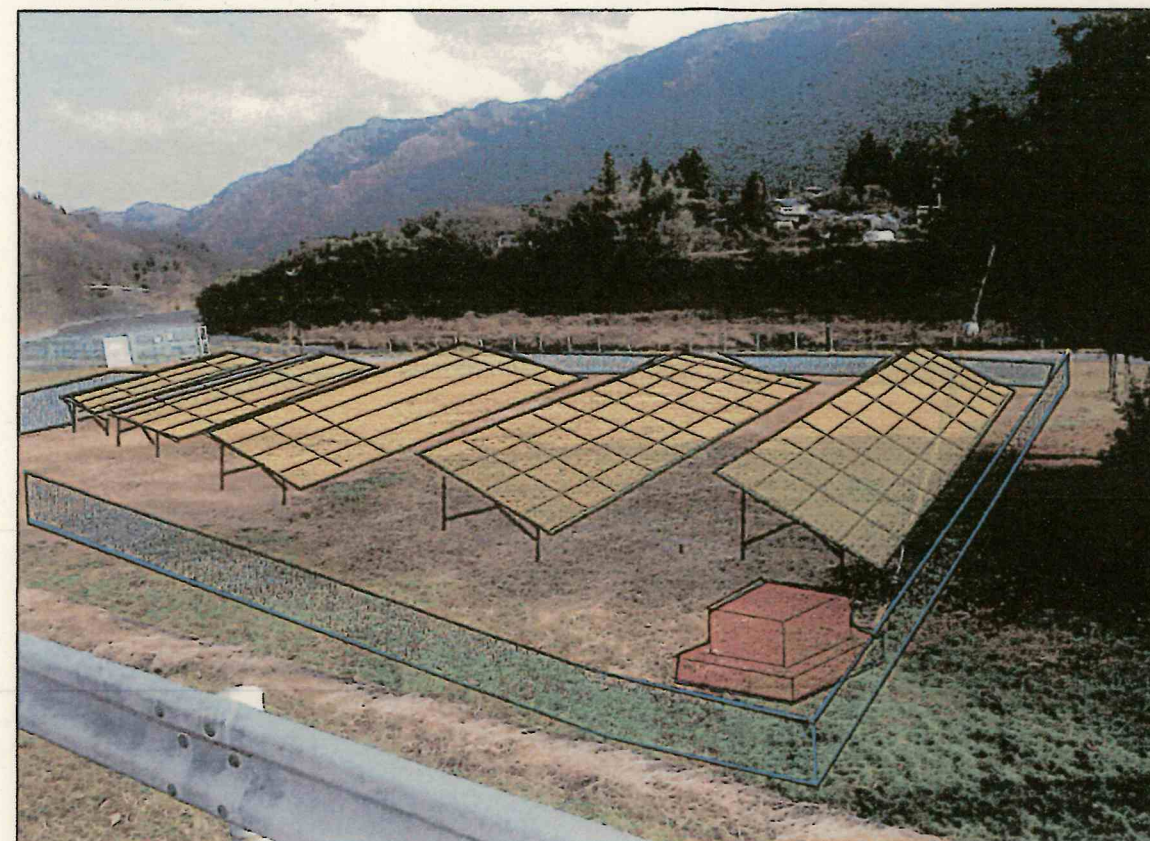
項 目		検 討 事 項		配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		防眩処理が施され結晶が目立たないものを選択した
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		黒色を選択した
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	反射しにくいように塗装した
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	黒色とした
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		景観に配慮した茶色とした
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。		新設は必要最低限の本数になるように検討した
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		目立ちにくい色にした (ベージュ等)
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		無し
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		無し
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		隣接した村道より2m設置場所が低いと反射や光の影響は少ないと考えられる
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		1年に1回保守点検を行う
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		確認済み

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

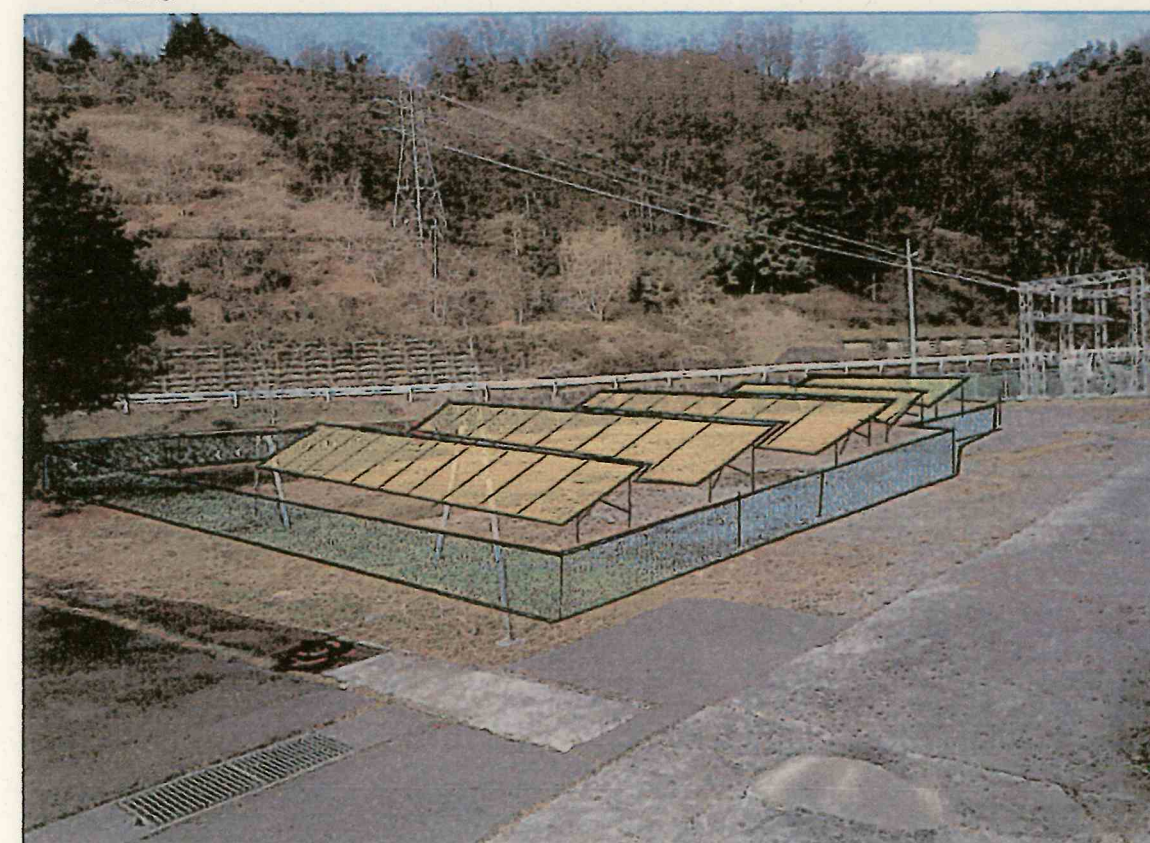
工事完成予想図



摄影①



摄影②



(参考様式) (第 19 条関係)

維 持 管 理 計 画

作成日 令和 7 年 1 0 月 3 日

太陽光発電施設の設置場所	長野県東筑摩郡生坂村大字東広津 18195-1 長野県東筑摩郡生坂村大字東広津 18196 長野県東筑摩郡生坂村大字東広津 18197-1	
事業者名（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名）	長野県東筑摩郡生坂村 5074-2 株式会社 いくさかてらす 代表取締役 藤澤泰彦 0263-69-2388	
保守点検責任者	氏名及び住所	田村航太 生坂村 5074-2
	電話番号	0263-69-2388
合計出力	4 9 . 5 kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日（事業終了予定日）	令和 3 7 年 1 1 月 3 日	
損害保険の加入状況	☒ 有 ☐ 無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	太陽光発電施設の処分は廃棄物処理者に依頼する 資金収支計画に基づく廃棄費用の積立を実施する	
維持管理計画及び状況の公表方法	標識に掲示	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

＜太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容＞

○強風による飛散

- ・太陽電池モジュール、課題の固定部に緩みがないこと、基礎などが強度不足になるような劣化がないことを保守点検項目に従い巡視を実施

○豪雨による災害

- ・土砂崩れ等の兆候がないか、排水機能に異常がないか、保守点検項目に従い巡視を実施

＜土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容＞

- ・事故・災害が発生した場合には、迅速に状況を把握し、関係機関（経済産業省・県など）に連絡する。
- ・土砂の流出やパネルの飛散など周辺環境に影響及ぼした場合は、速やかに撤去し、二次災害が起きないように対策を講じる

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年1回	4月中
			端子箱に破損、変形がないか		年1回	4月中
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		年1回	4月中
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年1回	4月中
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		年1回	4月中
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年1回	4月中
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		年1回	4月中
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		年1回	4月中
			接続部に緩み、破損がない。		年1回	4月中
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		年1回	4月中
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。		年1回	4月中
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食などの影響がない。		年1回	4月中
			ボルト、ナットの緩みがない。		年1回	4月中
			固定強度に不足の懸念がない。		年1回	4月中
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。		年1回	4月中
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年1回	4月中
			雨水、じんあい等の侵入がない。		年1回	4月中
	☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。		年1回	4月中
漏電遮断	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。		年1回	4月中
	☑	配線	配線に著しいきず、破損がない。		年1回	4月中
パワーコンディショナー	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。		年1回	4月中
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年1回	4月中
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年1回	4月中
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年1回	4月中

	☒	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		年1回	4 月中
--	-------------------------------------	----	-------------------------------	--	-----	------

附帯施設

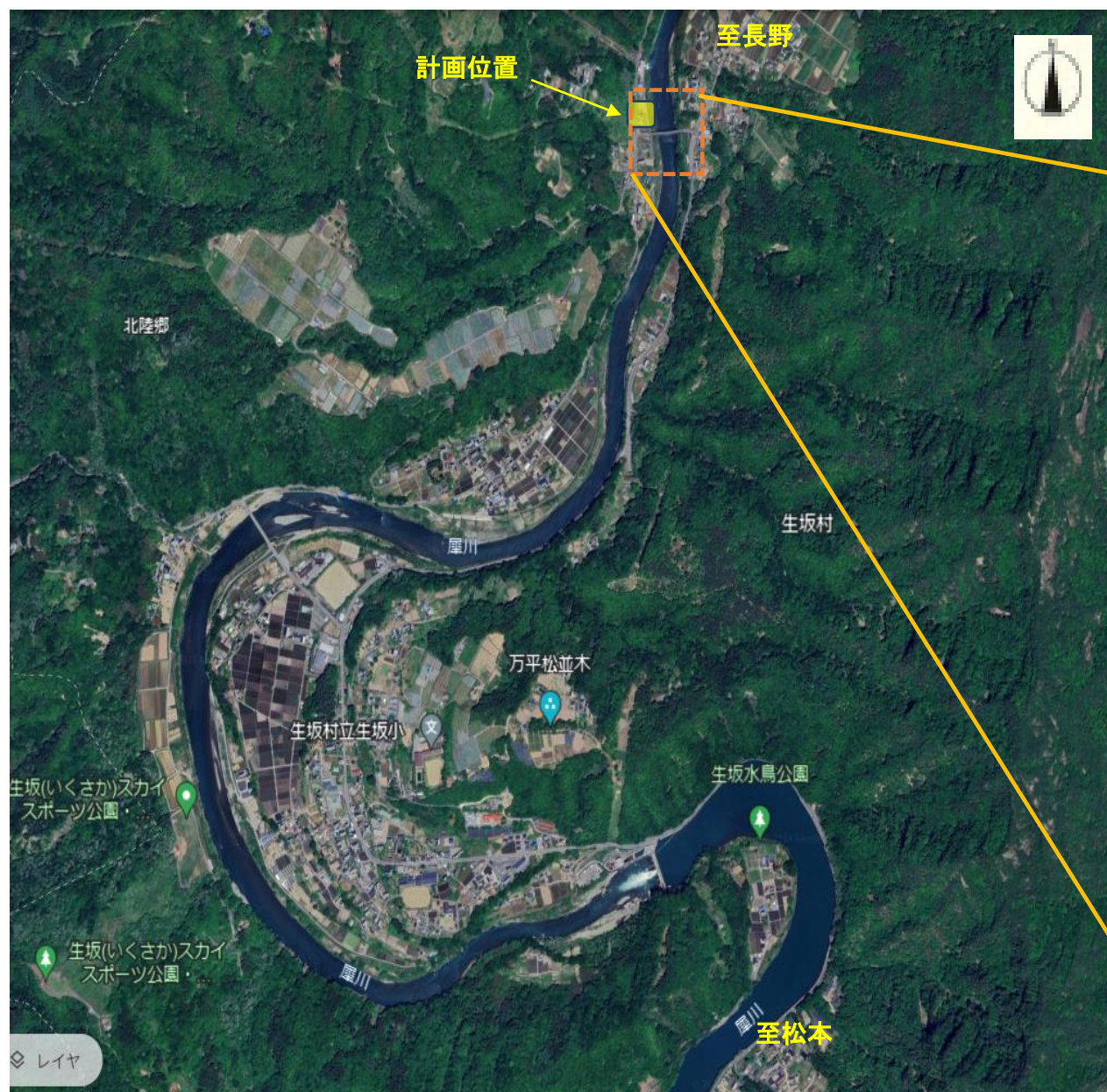
対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	☐	切土法面	小段の沈下がない。	目視	年 回	
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	☐	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
			水抜き穴につまりがない。			
			水抜き穴から異常な土砂流出がない。			
			地山に変形がない。			
排水設備	☒	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。		年1回	4 月中
			亀裂、ずれがない。		年1回	4 月中
			破損がない。		年1回	4 月中
			排水設備外への漏水がない。		年1回	4 月中
調整池	☐	提体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			
			草木の繁茂がない。			

	☐	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。			
	☐	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。			
	☐	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。			
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			油等の浮遊がない。			
	☐	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。			
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。			
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。			
			油等の浮遊がない。			
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。			
防護柵、堀	☒	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。		年1回	4月中
	☒	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。		年1回	4月中
	☒	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。		年1回	4月中
進上路・管理道	☒	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年1回	4月中
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年1回	4月中
			雨水等による洗掘がない。		年1回	4月中
			草木の繁茂がない。		年1回	4月中
設置地盤	☐	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設置地盤	☒	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年1回	4月中
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年1回	4月中
			雨水等による洗掘がない。		年1回	4月中
			草木の繁茂がない。		年1回	4月中

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加・修正してください。

設置位置図

長野県東筑摩郡生坂村大字東広津 18195-1、18196、18197



事業区域図

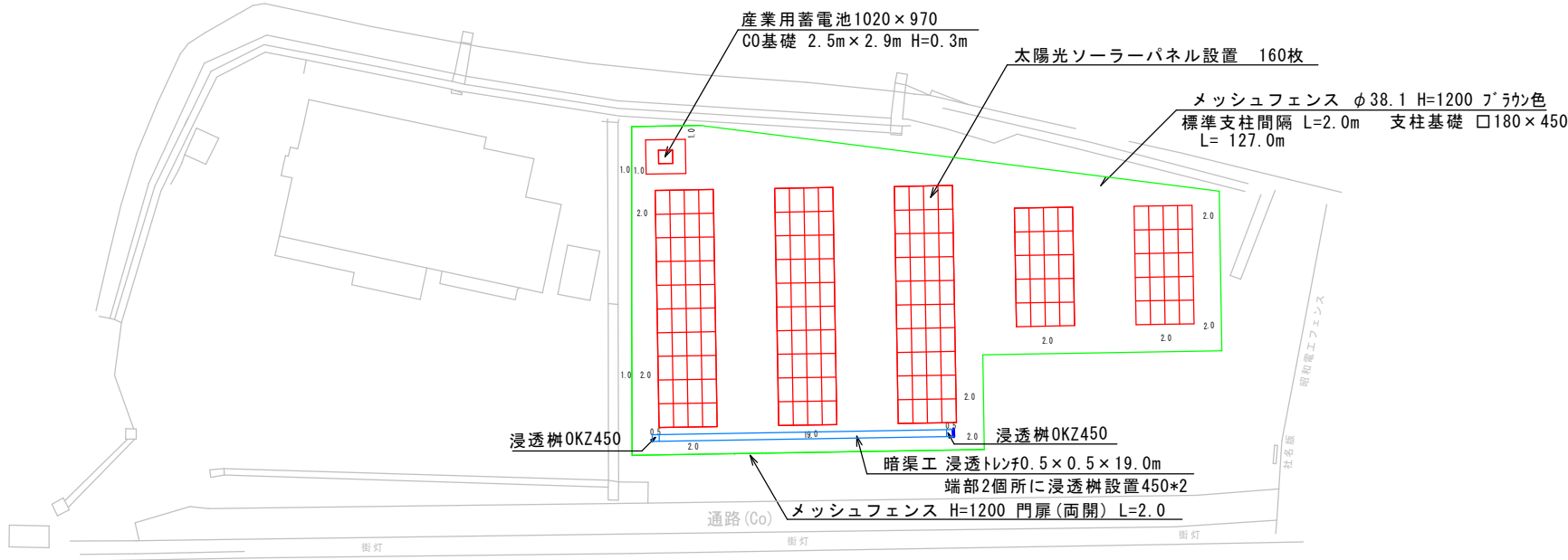
長野県東筑摩郡生坂村大字東広津 18195-1、18196、18197



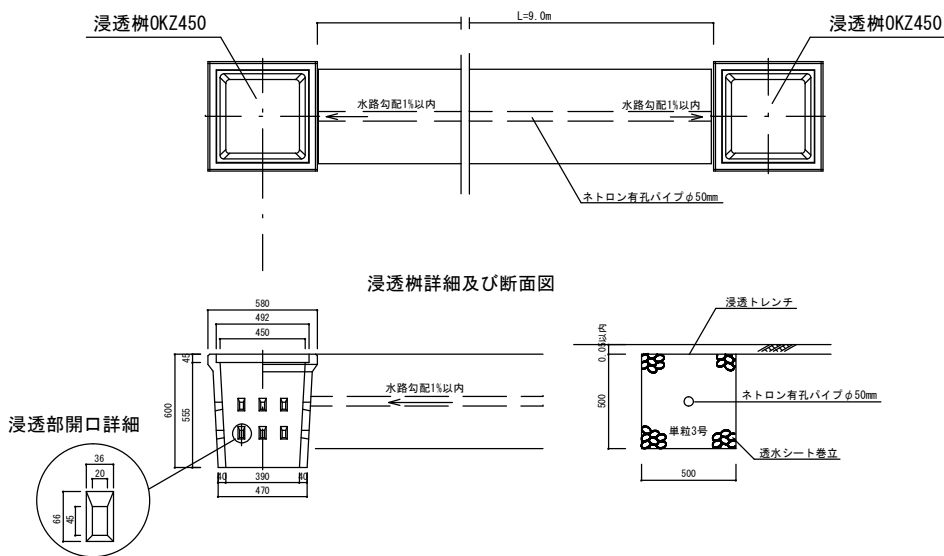
(周辺状況図)



平面図 S=1:250
(生坂村昭津地区)



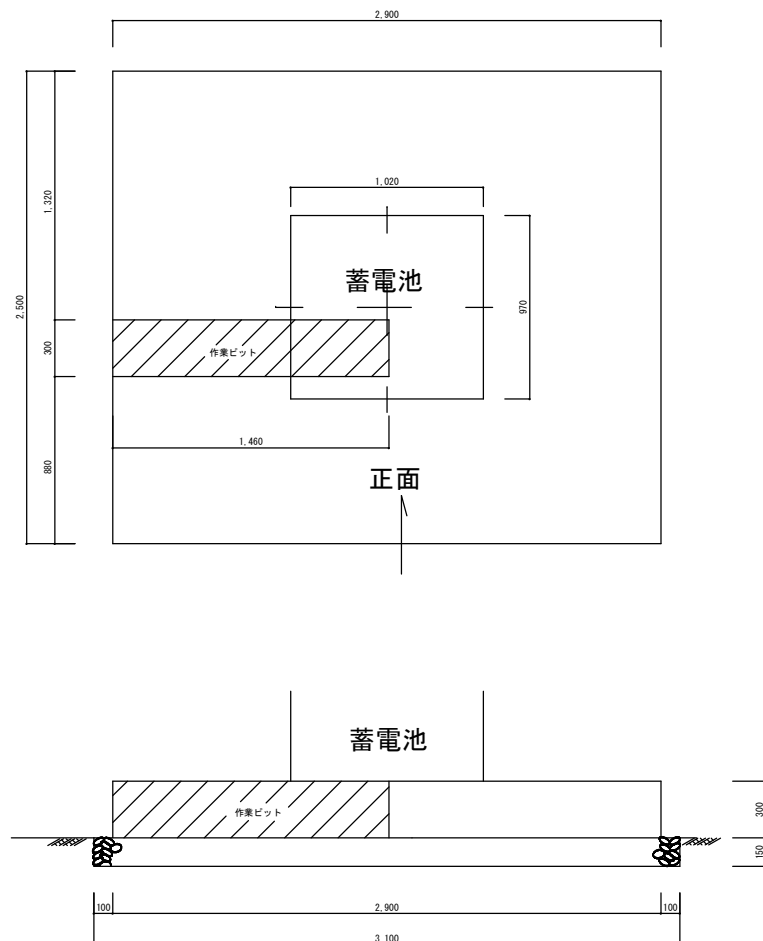
暗渠工透水トレンチ構造図 S=1:20



数量表

掘削・発生土処理 3.1m3 (0.5*0.5*19.0+0.8*0.8*0.6*2)
ネットロン有孔パイプφ50 L=19.0m
浸透柵 OKZ450型 2基
透水シート 厚さ1.5mm 1m×50m 1巻
単粒砕石 3号 2.7m3 (0.5*0.5*9.0*1.2)

蓄電池基礎工構造図 S=1:20



数量表

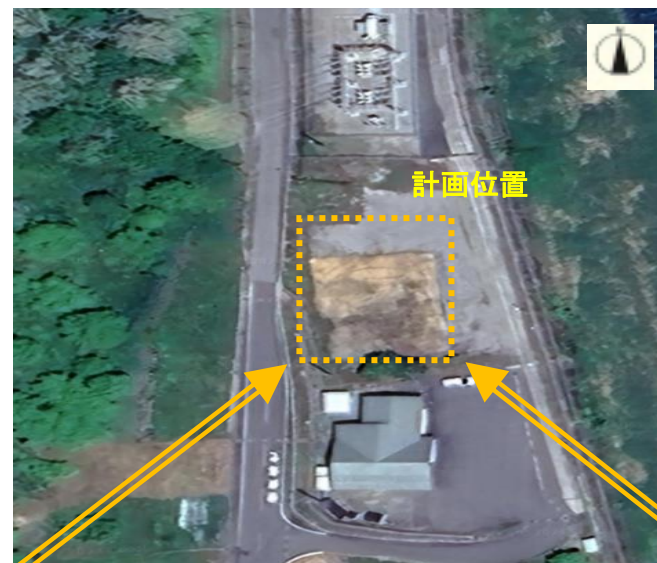
掘削・発生土処理 3.1m3 (2.9*2.5*0.15)
基面整正 7.3m2 (2.9*2.5)
砕石基礎 RC40 t=15cm 7.3m2 (2.9*2.5)
生コン21-8→40BB t=30cm 2.04m3 (2.9*2.5-1.46*0.3)*0.3

本図面は縮小図の為、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名			
図 面 名	平 面 図		
縮 尺	S=1:250	図面番号	-
年 月 日	令和 6 年 7 月 日		
設計会社名	平林建設株式会社		
事務所名			

現況写真

長野県東筑摩郡生坂村大字東広津 18195-1、1819 6、18197



撮影方向

撮影方向



(参考様式) (第11条・第13条関係)

事業基本計画説明状況書

令和 7
年 8 月 2 5 日 作成

事業者の住所・氏名 (法人にあって、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)		長野県東筑摩郡生坂村 5 0 7 4 - 2 株式会社 いくさかてらす 代表取締役 藤 澤 泰 彦
事業太陽光発電施設の設置の場所		長野県東筑摩郡生坂村大字東広津18195-1 長野県東筑摩郡生坂村大字東広津18196 長野県東筑摩郡生坂村大字東広津18197-1 (設備ID)
説明会開催についての周知の方法とその範囲		・ 地元昭津区へ周知文書全戸配布
説明会の概要	日時	令和 7 年 1 月 9 日 午後 3 時から
	場所	木材ふれあい体験館
	参加者数	3 名
	説明を行った者の氏名(法人にあっては、氏名及び役職名)	平 林 恭 治 (取締役) 田 村 航 太 (社員)

注 1 説明会を 2 回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

(添付資料) 1 説明会で配布した説明資料

2 説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等について具体的に記載した議事録

昭津区 充放電器及び太陽光発電パネル設置に関する説明会 次第

日 時：令和7年1月9日（木）15：00～

場 所：木材ふれあい体験館

1. 開会

2. あいさつ

3. 説明内容

（1）木材ふれあい体験館への充放電器の設置について

（2）同館周辺へのオフサイトP P A事業に伴う太陽光発電パネル設置について

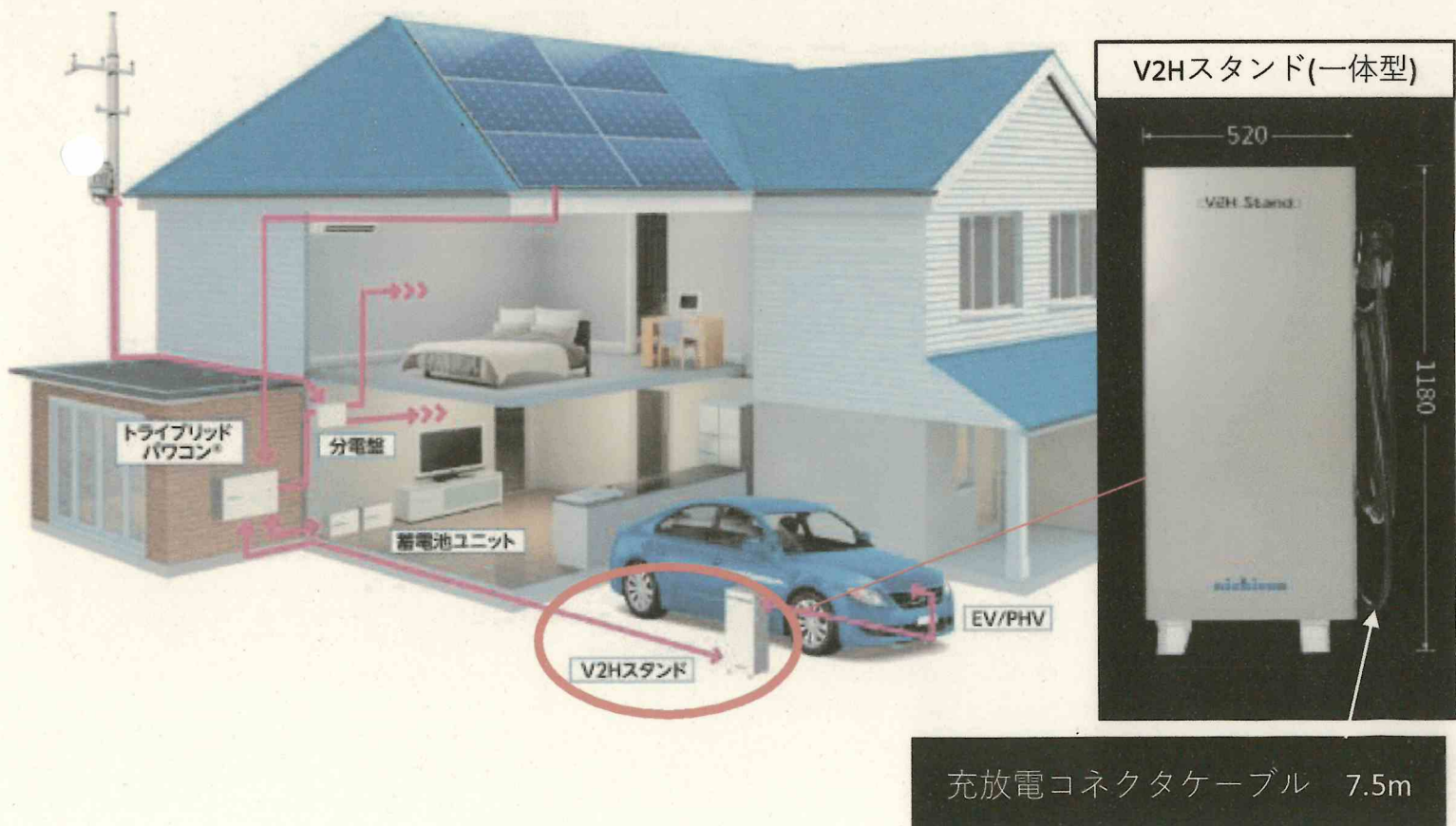
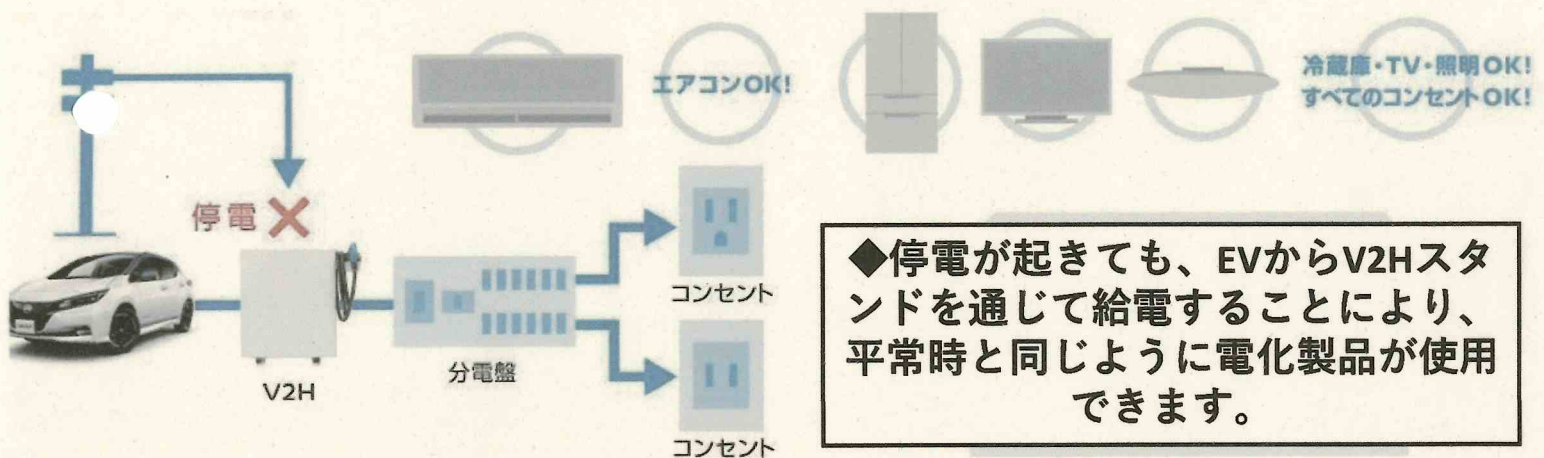
4. 質疑応答

5. 閉会

V2Hスタンドの設置について

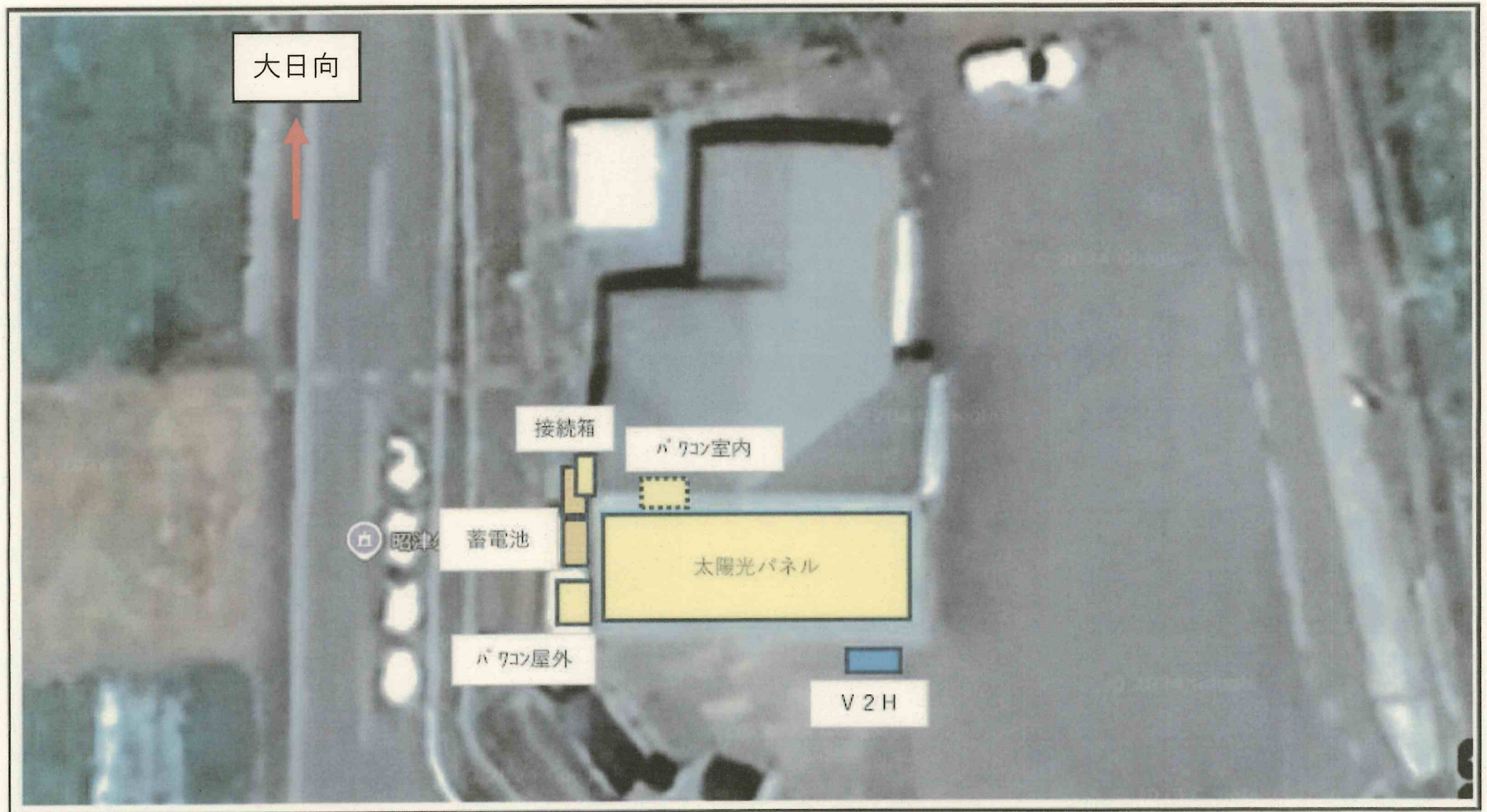


V2H (Vehicle to Home) → 直訳すると「クルマから家へ」

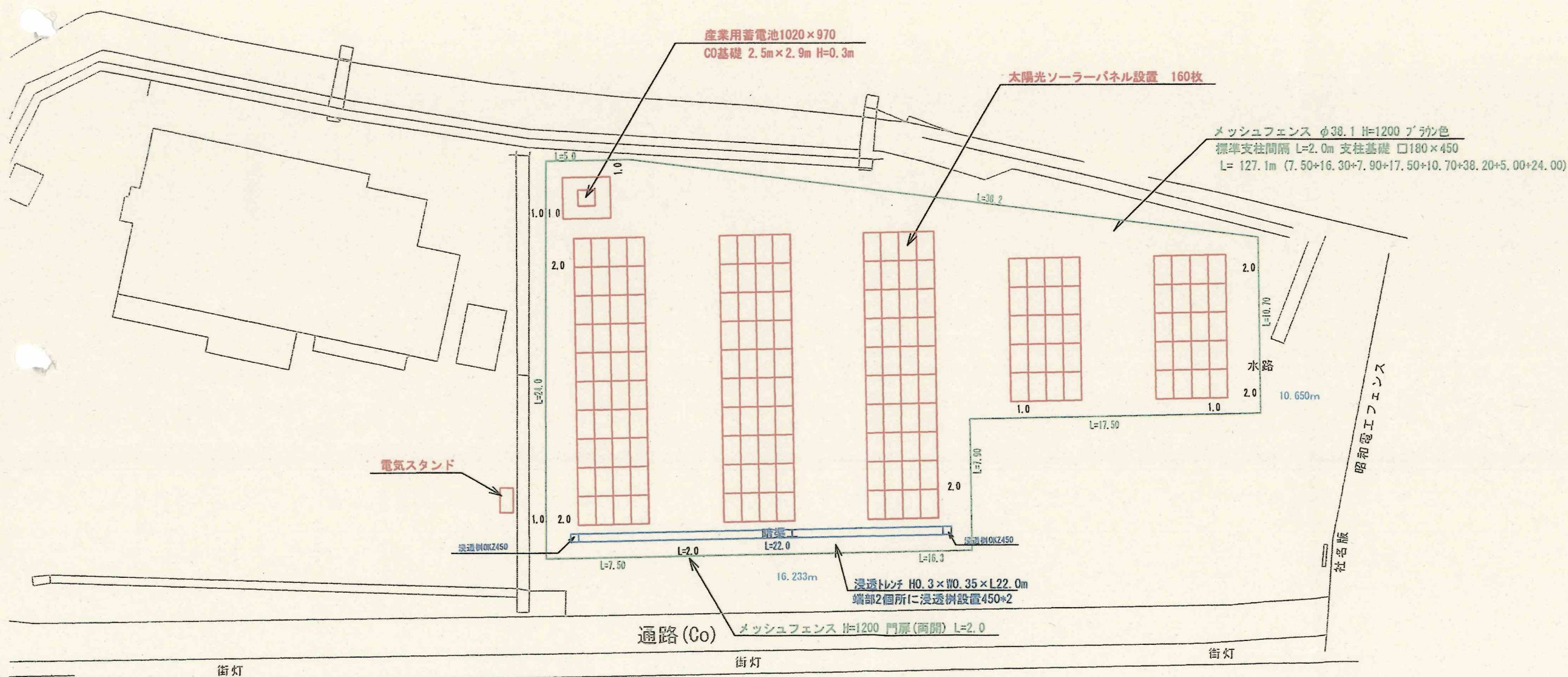


V2Hスタンドの設置場所について（希望）

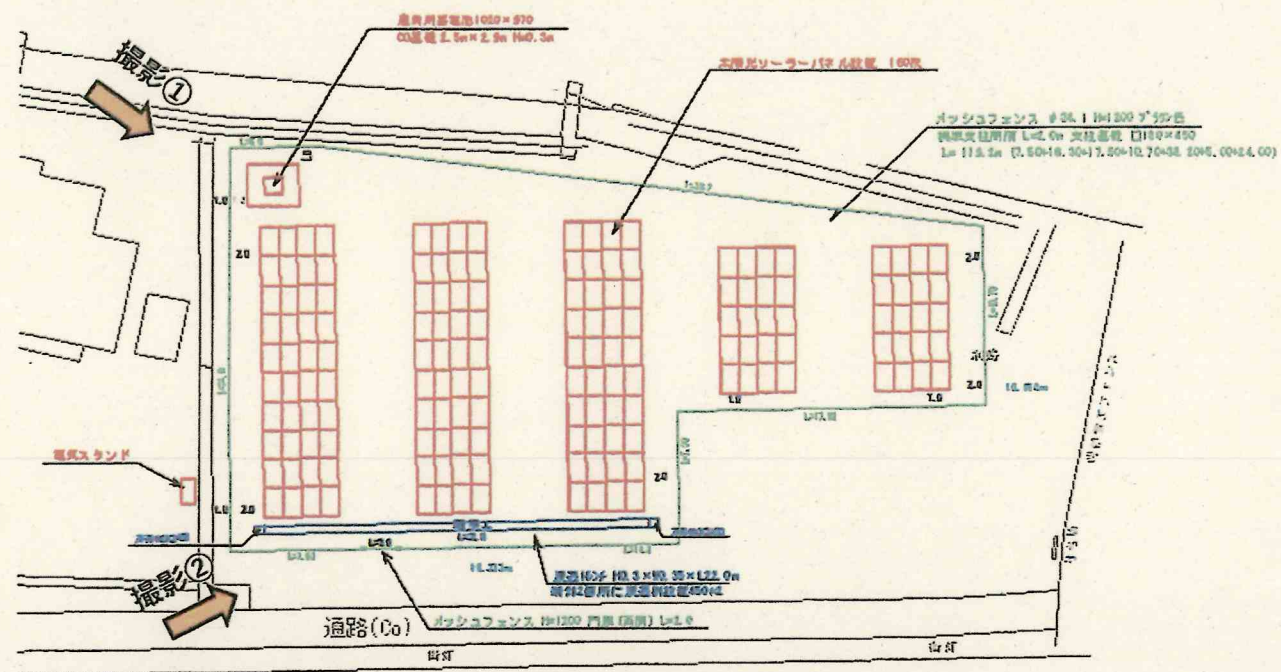
木材ふれあい体験館



施工面積 792.03m²



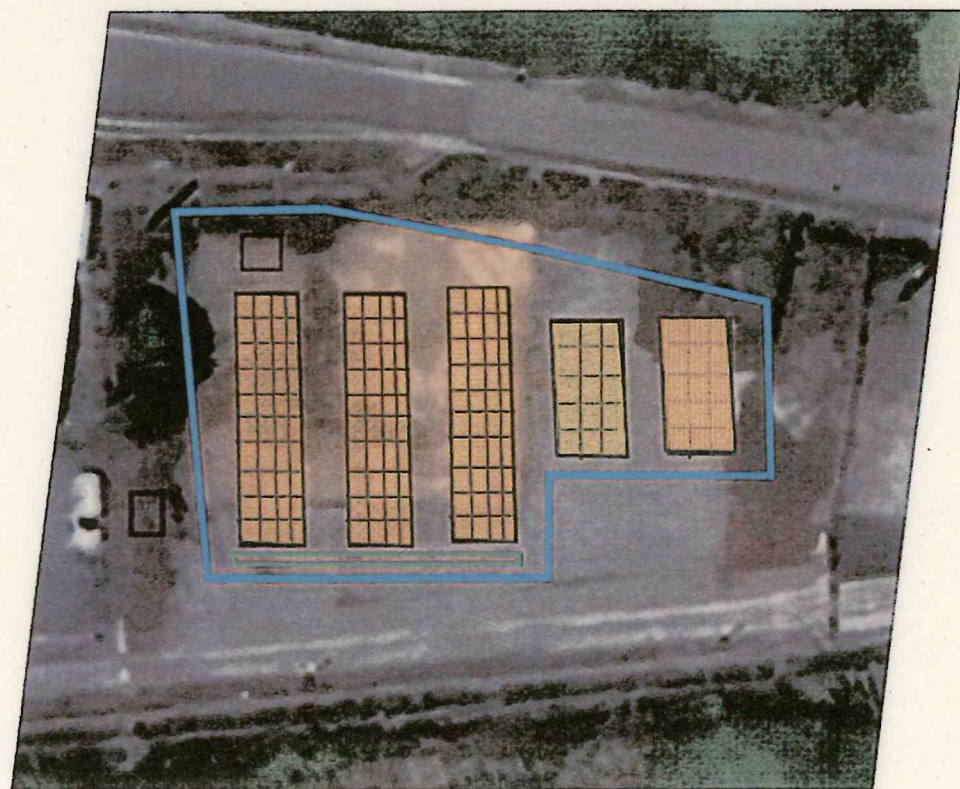
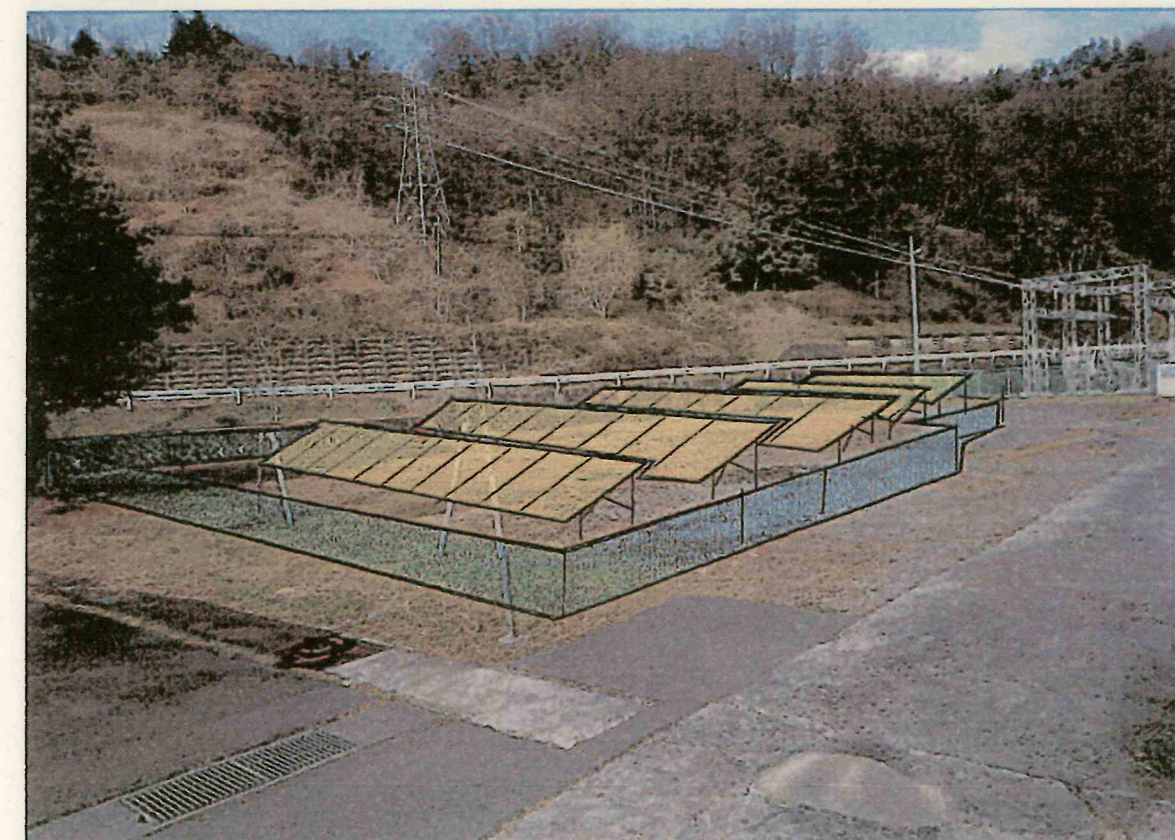
工事完成予想図

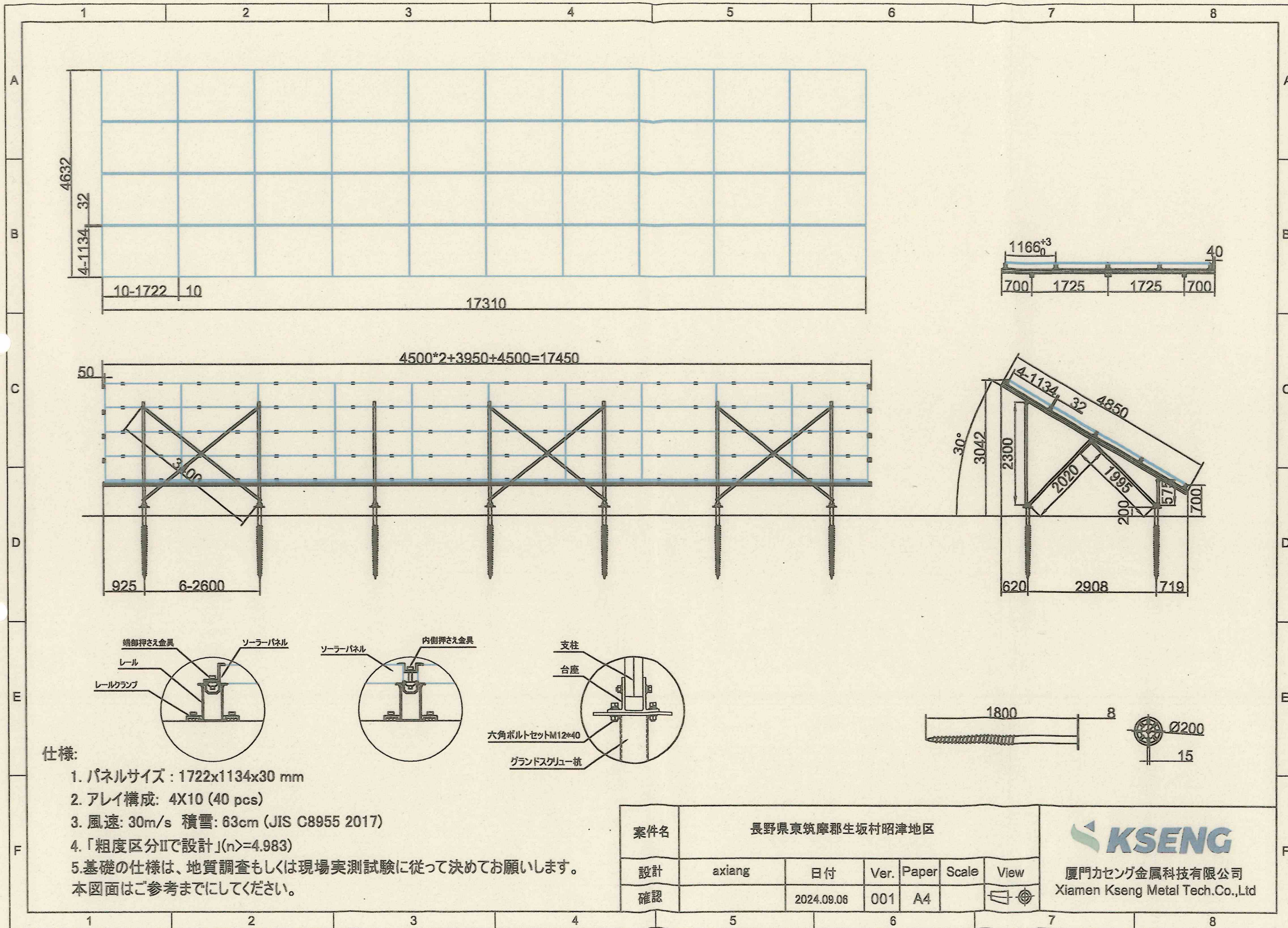


撮影①



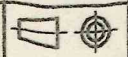
撮影②



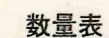
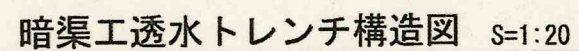


仕様:

1. パネルサイズ: 1722x1134x30 mm
2. アレイ構成: 4X10 (40 pcs)
3. 風速: 30m/s 積雪: 63cm (JIS C8955 2017)
4. 「粗度区分Ⅱで設計」(n>=4.983)
5. 基礎の仕様は、地質調査もしくは現場実測試験に従って決めてお願いします。
本図面はご参考までにしてください。

案件名	長野県東筑摩郡生坂村昭津地区						 廈門カセング金属科技有限公司 Xiamen Kseng Metal Tech.Co.,Ltd
設計	axiang	日付	Ver.	Paper	Scale	View	
確認		2024.09.06	001	A4			

(生坂村昭津地区)



掘削・発生土処理 3.1m³ (0.3*0.35*22.0+0.8*0.8*0.6*2)
 ネットロン有孔パイプφ50 L=22.0m
 浸透樹 OKZ450型 2基
 透水シート 厚さ1.5mm 1m×50m 1巻
 単粒碎石 3号 2.8m³ (0.3*0.35*22.0*1.2)

工事工程表

工事計画名	昭津地区発電所					事業者	株式会社いくさかてらす	
所在地	長野県東筑摩郡生坂村大字東広津							
工事期間	令和7年 7月1日 ～ 令和7年12月15日							
工種	2025年(令和7年)						備考	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
準備工								
土工								
基礎工 ・ トレンチ設置								
架台組立 モジュール敷設								
電気工								
蓄電池設置								
フェンス工								
電気スタンド設置								
片付け								
各種検査 系統連携								

昭津区 充放電器及び太陽光発電パネル設置に関する説明会（要点記録）

日 時：令和7年1月9日（木）15：00～

場 所：木材ふれあい体験館

＊本説明会は生坂村と㈱いくさかてらすとの合同開催のため、本要点録は㈱いくさかてらすが作成し、生坂村総務課村づくり推進室が確認したものである。

参加者：3名

説明者：生坂村…牛越副村長、村づくり推進室長、村づくり推進室
㈱いくさかてらす…平林取締役、

1. 開会

：定刻となったので、説明会を開催する。
牛越副村長より挨拶申し上げる。

2. あいさつ

牛越：今日は、お寒い中また足元の悪い中ご参集いただき感謝申し上げます。

昭津区の木材体験館には充放電器の設置をし、有事の際の停電に備えていきたい。また、下流側の土地に㈱いくさかてらすにより太陽光発電パネルの設置をし、電気の地産地消に資する計画がある。両事業ともに関連がないわけではないので、合同での会議を開催したことをご理解願う。このあと、それぞれの説明をするので、忌憚のないご意見などを賜りたい。

3. 説明内容

次第では、説明が終了した後、一括での質疑応答となっているが、一つずつ説明、質疑としていきたい。

それでは最初に、生坂村がここ木材ふれあい体験館に設置予定の充放電器の説明を
が資料に基づいて行う。

（1）木材ふれあい体験館への充放電器の設置について

：まず、充放電器の説明を行う。

充放電器とは、電気自動車への充電と、電気自動車から充放電器が設置してある建物への給電の両方ができるものである。

村では、脱炭素先行地域の選定を受け、今年度より順次10地区の地区施設に設備導入を計画している。

指定避難所である地区施設付近で大規模停電が発生しても、電気自動車からの給電により避難所としての機能を維持していくことが可能である。

ここについての充放電器は図面のとおりの位置に設置予定であるが、支障の有無など協議願う。

概要の説明をした。意見質問等あれば出して欲しい。

参加者：いつから使えるようになるのか。

設置完了は年度内。諸申請等があるので使用可能は来年度中。

参加者：住民が電気自動車を購入した場合にもその自動車に充電できるのか。

充放電器設置の趣旨は、避難所機能維持のための非常用電源供給であり、私的利用

は現時点で想定していない

参加者：いたずら防止対策をしっかりとしてもらいたい。

■：万全を期していく。

■：ほかには。

（参加者より なしの旨 声あり）

では、先ほど説明したが、設置場所は図面のとおりでよいか。

（参加者より 異論なしの旨 声あり）

今後、受注業者が現場着手となっていく。事故ないように万全を期していくよう村としても申し入れておく。

（２）同館周辺へのオフサイトPPA事業に伴う太陽光発電パネル設置について

平林：ここからは、(株)いくさかてらすの説明となる。進行を平林が行っていく。

では、資料により田村が説明する。|

■村が推進している脱炭素事業として、太陽光発電設備をこの建物の下流側土地への設置を計画。土地所有者は■であり、現在貸借について協議中である。

設備概要は、パネル 160 枚 出力 69.6kW 蓄電池 1 ケ 電気スタンド 1 ケ 設備設置敷地面積は約 792 m²である。

また、浸透トレンチ、柵の設置により出水時対応、フェンス設置より侵入防止策を講じていく。

平林：概要の説明をした。意見質問等あれば出して欲しい。

参加者：蓄電池設置場所付近には、埋設管があるようだ。工事の際には注意が必要だ。

■ご教示ありがたい、現場着手までの間に精査する。

参加者：設置と供用の開始はいつごろか。

■：令和 7 年度中を考えている。

参加者：充電スタンドの計画もあるが、住民にメリットがあるよう検討して欲しい。

■：計画段階であり、設置の費用対効果を調査中。仮に設置決定をした場合は、意向に沿えるよう検討する。

参加者：各地で盗難被害の例もある。また、いたずらによる損傷も心配される。万全を期して欲しい。|

■多方面から検討し、万全を期していく。

参加者：地元として反対はしない、区長として本日の説明内容を全戸に伝えていく。村分も含めて会議資料を用意いただきたい。|

■承知した。|

■承知した。

平林：ほかはないか。

（参加者より なしの旨 声あり）

4. 質疑応答（説明内容と同時に進行した）

5. 閉会

■それでは、説明会を終了する。